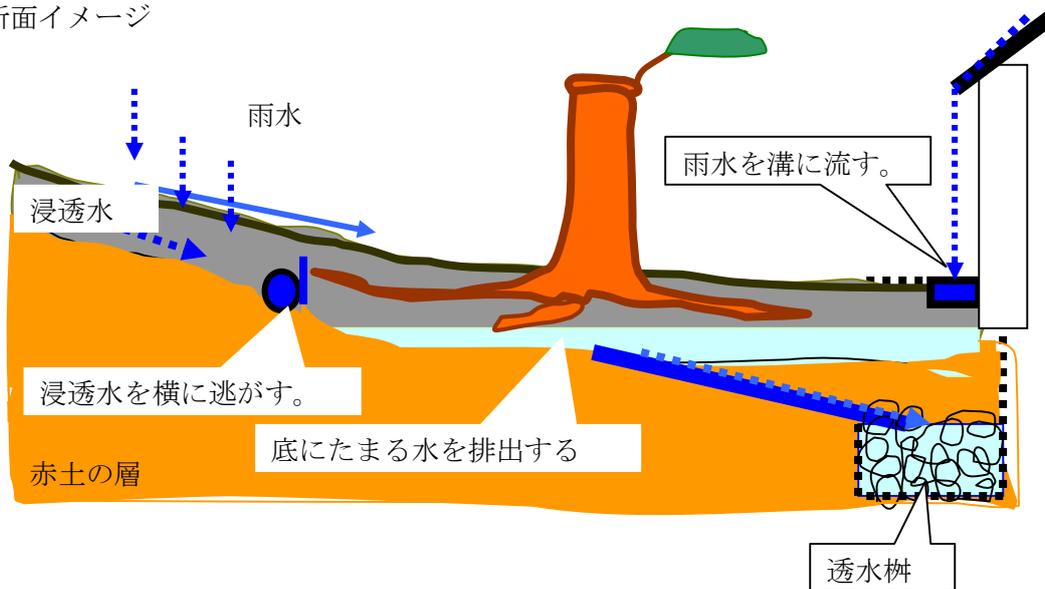


断面イメージ



※この埋設方法でしたらお母様が歩かれてもつまづかれることはありません。

#### 方法2

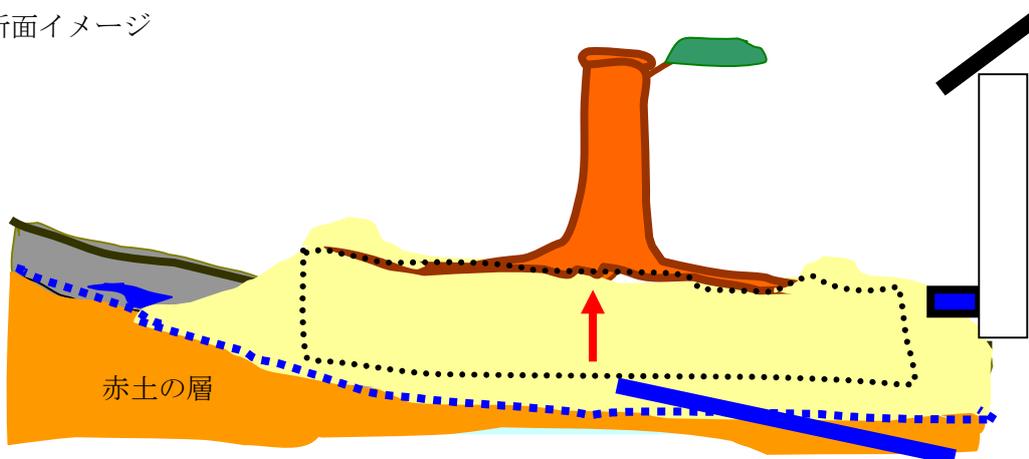
マツをその場で一旦掘起こし、ベースを高くして高植する方法です。

将来を見据えた場合、マツにとって一番良い方法だと思います。

一番簡単にできますが時期として来年1月～3月の工事になりますが、根の状態で2回、2年に分けて行う場合があります。(事前に根の詳細を調査する必要があります。)

この場合でもお社の雨だれ排水溝は必要です。又、水位継続観察調査結果にもよりますが、底根に滞水する場合、排水は施工するのがマツの衰退を遅らす為に有効です。

断面イメージ



ベースを上げると同時に周辺の土壌も改善して根の伸長領域を確保するとより効果があります。方法として坪状改良(割竹通気管投入)、土壌灌注による攪拌。

応急処置（当日、滞留水の確認孔を設置しました）

**水位の点検孔設置**



竹の上から水面まで、お手数ですが毎月1回、深さを測って教えてください。（提案事項の最終施工決定可否判断を行います。）

今の時期約30cm前後で推移すると思います。

**B.お社の屋根の緑青対策**

お社の屋根から落ちた雨水に緑青が混じっており、コンクリートの上にもその痕跡があります。緑青は殺菌力があり長期間にわたり土中に残留してマツの根と共生している外生菌根菌に悪影響を及ぼします。屋根の雨水が土の上に流れないように溝を設けて雨水桝に流れるようにしてください。外生菌根菌は、緑青によりダメージを受けます。すぐ出来ることは、水の溜まる表土5cm程度を取り除いて清浄な土に入れ変えて下さい。（お社の北側のみ）



モミジの根を一部切ることになりますが、この位置（黄色点線）にU字溝を設置して屋根の雨だれを南側に流してください。勾配が取れない場合は、浸透桝を設置してください。